

令和7年度入学試験問題(前期日程)

総合問題<都市経営学部>

(120分)

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. この問題冊子は全部で24ページあります。また、問題冊子とは別に解答用紙4枚(その1～その4)、下書き用紙(白紙)2枚が配付されます。
3. 解答開始後、すべての解答用紙指定欄に受験番号、名前を記入しなさい。
4. 解答は、必ず解答用紙の指定された箇所に記入しなさい。
5. 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰りなさい。

IV 次の文章は、「おふくろの味」と呼称されるものと場所との関係性について述べたものである。文章を読んで、後の問1～問5に答えなさい。

著作権保護の観点から、公開していません。

著作権保護の観点から公開していません。

出典：湯澤規子『「おふくろの味」幻想—誰が郷愁の味をつくったのか—』光文社、
2023年(一部改変)

問 1 と に当てはまるもっとも適切な語句を、「親密な経験が生み出す「根拠地」という場所」という見出しよりも前の本文中からそれぞれ漢字 2 字で抜き出して答えなさい。

問 2 下線部(1)は、以下の英文を訳したものである。()内の語句を並べかえて正しい英文を作成しなさい。

著作権保護の観点から、公開していません。

出典：Yi-Fu Tuan, *Space and Place: The Perspective of Experience*, University of Minnesota Press, 2001. (一部改変)

問 3 下線部(2)の「野暮」や「永遠性」という語句は、阿部なを『小鉢の心意気』(筑摩書房、2007年)に由来している。同書の内容をふまえた以下の【説明文】の ～ に当てはまる語句を答えなさい。なお、 と は「空間」と「場所」のいずれかで、また は本文中から3字で抜き出して答えなさい。

【説明文】

著作権保護の観点から、公開していません。

(注) 悲母観音とは、狩野芳崖^{かのうほうがい}によって描かれた日本画のこと。

問 4 下線部(3)に関連して、労働時間のジェンダーギャップには、国ごとに違いが見られる。以下の図 1 は G7 各国における男女別にみた 1 日あたりの有償労働・無償労働の時間を、表 1 はそれらの男女比を示したものである。日本とカナダに当てはまるものを図 1 中の(ア)~(オ)の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

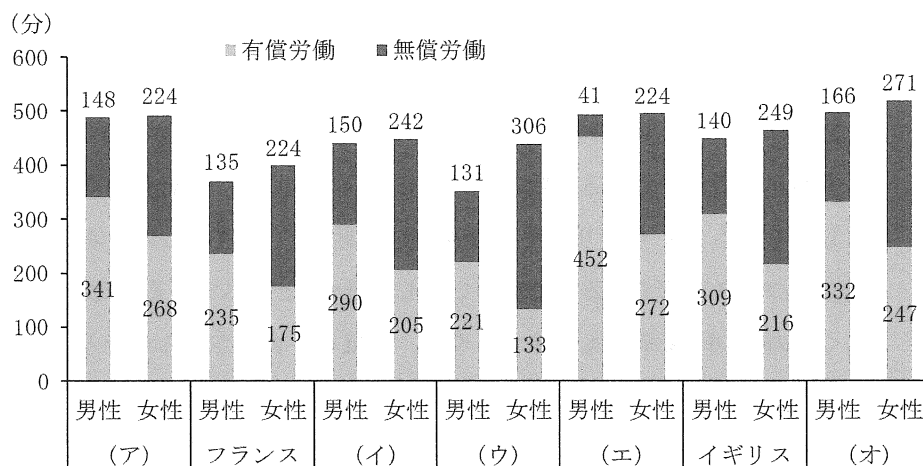


図 1 G7 各国の男女別にみた 1 日あたりの労働時間(週全体平均)

(注) 1 図内の数値は、2009~2019 年の間に 15~64 歳の人びとを対象に実施された調査の結果である(調査年は国によって異なる)。

2 有償労働は「paid work or study」、無償労働は「unpaid work」に該当する生活時間である。

なお、「有償労働」は「有償労働(すべての仕事)」、「通勤・通学」、「授業や講義・学校での活動等」、「調査・宿題」、「求職活動」、「その他の有償労働・学業関連行動」の合計であり、「無償労働」は「日常の家事」、「買い物」、「世帯員のケア」、「非世帯員のケア」、「ボランティア活動」、「家事関連活動のための移動」、「その他の無償労働」の合計である。

出典：OECD, *Gender data portal 2021 Time use across the world* をもとに作成
(https://stats.oecd.org/Index.aspx?DataSetCode=TIME_USE)

表1 有償労働と無償労働の男女比

	有償労働の男女比 (男性/女性)	無償労働の男女比 (女性/男性)
アメリカ合衆国	1.3	1.6
イギリス	1.4	1.8
イタリア	1.7	2.3
カナダ	1.3	1.5
ドイツ	1.4	1.6
日本	1.7	5.5
フランス	1.3	1.7

(注) 1 表内の数値は、小数第2位を四捨五入したものである。

2 「有償労働」と「無償労働」の区分は図1に同じ。

出典：図1に同じ

問5 本文の内容と一致するものを次の(ア)～(オ)の中からすべて選び、記号で答えなさい。

- (ア) 人間は、主に触覚と視覚によって「空間」を認識し、味覚や嗅覚、皮膚感覚、聴覚を通じて「場所」を認識する。
- (イ) 「母なるもの」や「母性」への思慕は、近代における「良妻賢母」という理想を背景として構築されたものである。
- (ウ) イーファー・トゥアンは、抽象的な「空間」よりも安心性を表象する具体的な「場所」が人々の生活にとって重要だと指摘した。
- (エ) ジェンダー規範がどのようなものであるかに関係なく、トポフィリアの対象となるのは母親である。
- (オ) 「おふくろの味」によってトポフィリアが呼び起こされるのは、それにまつわる場所が内的な世界地図に埋め込まれているからである。

(問題は以上です。次ページ以降は白紙です。)